

第 2 回
島田市まち・ひと・しごと創生市民会議

平成30年 3月22日

会議要録

平成 29 年度 第 2 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議要録

会議体の名称	平成 29 年度 第 2 回 島田市まち・ひと・しごと創生市民会議	
事務局 (担当課)	島田市市長戦略部戦略推進課	
開催日時	平成 30 年 3 月 22 日 (木) 10:00~11:30	
開催場所	島田市役所 4 階第 3 委員会室	
議題	<p><報告事項></p> <p>(1) 地方創生交付金を活用した事業の実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT で人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト ・ 蓬萊橋周辺整備事業 (地方創生拠点整備交付金事業) <p>(2) 平成 30 年度の取組予定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT で人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト ・ 平成 30 年度地方創生関連当初予算 (案) <p><意見交換></p> <p>テーマ「島田市の人口動向等について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年 (2017) の島田市の人口動向について ・ 転入転出者アンケート結果について (期間: H28.7.1~H30.1.31) <p><その他></p> <p>平成 30 年度島田市まち・ひと・しごと創生市民会議について</p>	
出席者	創生市民会議 構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 島田市自治会連合会 杉山副会長 ・ 島田青年会議所 川端理事長 ・ お母さん業界新聞 静岡版 杉本編集長 ・ 島田市小中学校 P T A 連絡協議会 良知会長 ・ N P O クロスメディア島田 大石理事長 (欠席) ・ 島田商工会議所 岩原会頭 ・ 島田市商工会 大塚会長 (欠席) ・ 島田観光協会 大久保会長 ・ 島田市農業経営振興会 仲田会長 ・ 静岡県立島田工業高等学校 松村校長 ・ 島田市校長会 服部・金谷小学校長 ・ 島田信用金庫 市川理事長 (代理出席) ・ 島田・榛北地区労働者福祉協議会 鈴木会長 ・ 島田公共職業安定所 鈴木所長 ・ 静岡県立大学 (学生) 大石百華 (経営情報学部 3 年) ・ 県立島田商業高等学校 (生徒) 田中彩音 (3 年) (欠席) ・ 県立島田商業高等学校 (生徒) 酒井麻悠子 (3 年) ・ 島田市 染谷市長

	オブザーバー	静岡県中部支援局 後藤局長（欠席）
	事務局	島田市市長戦略部戦略推進課 田中課長
	市関係者	・牛尾副市長 ・濱田教育長 ・鈴木市長戦略部長（欠席）

配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市まち・ひと・しごと創生市民会議構成員 ・島田市まち・ひと・しごと創生市民会議席次表 ・（資料1）平成29年度地方創生に係る交付金を活用した事業について ・（資料2）平成30年度地方創生推進交付金事業について ・（資料3）平成30年度地方創生関連当初予算（案）について ・（資料4）島田市の人口動向について ・（資料5）転入者・転出者アンケート結果について
------	---

<開会の挨拶>

○戦略推進課長 皆様、御多用の所、御出席を賜り、誠にありがとうございます。本日の司会をさせていただきます島田市市長戦略部戦略推進課長の田中と申します。よろしく願いいたします。それでは、定刻となりましたので、ただ今から、「平成29年度第2回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議」を開催させていただきます。

本日の会議ですが、当初、12時までとお知らせさせていただきましたが、市長の公務の関係で11時30分を終了予定時間とさせていただきます。

それでは、はじめに染谷絹代島田市長から、御挨拶申しあげます。染谷市長よろしく願いします。

○染谷市長 皆様こんにちは。市長の染谷でございます。

本日は御多忙の中、第2回島田市まち・ひと・しごと創生市民会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。開会にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

この会議は、本日が今年度第2回目の開催となります。

前回は、8月22日に開催しており、PDCAサイクルにおける「C」の部分であります。島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価・検証の取組について、御説明させていただきました。

さて、去る1月29日、総務省が公表した2017年の「人口移動報告」によりますと、東京圏（埼玉、千葉、東京、神奈川）は、転入者が転出者を11万9,779人上回る「転入超過」でした。

「転入超過」の状態は、15歳～29歳の転入超過が目立ち、22年連続で続いており、超過人数も2年ぶりに増え、「東京一極集中」は加速していま

す。人口減少、少子超高齢化への対応は、喫緊の最重要課題であると誰もが認識していますが、構造的課題であるがゆえ、即効性がある取組は難しい状況にあります。

このような状況下で、本市では、本年2月3日、県教育委員会の協力のもと、県立島田工業高等学校様をはじめとした、市内5つの高等学校と、島田商工会議所様、島田市商工会様、島田市観光協会様の3経済団体の9者で、包括連携協定を締結いたしました。

これにより、様々な分野で若い力が経験を糧(かて)に成長する場を用意し、「地域の魅力を感じてもらい、一旦、島田を離れたとしても、広い見聞を得て、将来、島田に戻りたい、島田で就職して活躍したい」と思われるような環境を整備していきたいと考えております。

さて、本日の会議では、平成29年度中に地方創生交付金を活用して実施してまいりました事業の実施状況や、平成30年度の市の地方創生関連予算(案)について御説明申し上げた後、会議の後半は、皆様からの活動報告や、意見交換をする時間とさせていただく予定となっております。

限られた時間ではございますが、皆様から忌憚のない御意見を頂戴したいと思っておりますので、どうか御協力いただきますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしくお願いいたします。

- 戦略推進課長 ありがとうございます。それでは、早速、議事に入っていきたいと思えます。議長につきましては、「島田市まち・ひと・しごと創生市民会議設置要綱第3条に基づき染谷市長にお願いしたいと思えます。染谷市長、お願いいたします。

<議事(協議事項)(1)>

- 染谷市長 依頼のあった議長を務めさせていただきます。それでは、報告事項(1)「地方創生交付金を活用した事業の実施状況について」事務局から説明をお願いします。

- 事務局 資料1の説明

地方創生推進交付金事業「ICTで人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト」について説明した。

- ・島田ICTコンソーシアムが策定した「ICT推進プロジェクト推進計画」の説明
- ・「ICT推進プロジェクト推進計画」に基づく、平成29年度事業実施状況の説明

地方創生拠点整備交付金事業「蓬萊橋周辺整備事業」について説明した。

- ・蓬萊橋897.4茶屋の説明

・事業経過、工事概要の説明

○染谷市長 それでは、続きまして報告事項（２）「平成 30 年度 of 取組予定について」事務局から説明をお願いします。

○事務局 資料 2 の説明
地方創生推進交付金事業「ICT で人の流れを呼び込む教育・産業づくり推進プロジェクト」について説明した。
・平成 30 年度事業実施計画案の説明

○事務局 資料 3 の説明
平成 30 年度地方創生関連当初予算（案）について説明した。
・平成 30 年度島田市当初予算（案）における地方創生関連予算額の規模、主な事業、新規事業等の説明

○染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はありませんか。

（島田市校長会）

○A 構成員 新しい学習指導要領により、平成 32 年度から小学校におけるプログラミング学習が必修となります。
島田市校長会では、平成 30 年 2 月 20 日に伊太小学校において「ドローンによるプログラミング体験学習」を島田 ICT コンソーシアム人材育成部会に実施していただきました。これは来年度、市内小学校 18 校で実施するにあたり、試行的な位置づけとして実施していただいたものであります。
この事業は 5 人から 6 人がグループになり、話し合いをしながらプログラミングに取り組むもので、非常に素晴らしい学習体験であると考えています。また、実際にプログラミングした内容がドローンの動きとして見えることから、小学生に非常に適した学習内容であると思っています。さらに、この事業を通して様々な立場、職種の方と関わりをもつ点においても有意義であると感じておりますので、来年度、この事業を子どもたちのために効果的に実施できたらと考えています。

（島田商工会議所）

○OB 構成員 平成 30 年 3 月 28 日開所式の予定となっている島田 ICT コンソーシアムの拠点ですが、島田商工会議所の 1 階に設置していただけるということで非常に有難く思っています。現在の市内事業所の課題として「雇用」が挙げられ、今後も厳しい状況が続いていくと考えております。この課題を改善、解決する手段として ICT や IoT、AI 等の効果的な活用が必要となります。今回、商工会議所 1 階に拠点を設置されることで、商工会議所の会員及び市内事業

所の皆様が相談しやすい環境が整いますので、商工会議所としましても連携した取組を展開していきたいと考えています。

(静岡県立大学)

- OC 構成員 1点質問があります。
資料3の平成30年度地方創生関連当初予算案1ページの、基本目標「希望どおり結婚、妊娠、出産し、子どもをまんやかに子育てする」の中の「出逢い、恋して、結婚する」の予算額が前年度から36.17%減となっていますが、これはなぜですか。
- 事務局 詳細まで把握しておりませんので、確認させていただき、後ほど御説明させていただきます。

(島田市自治会連合会)

- OD 構成員 資料1平成29年度島田ICTコンソーシアム事業実施状況の中で、クラウドソーシング推進事業とあり、事業費が1600万円、813万円などがありますが、クラウドソーシングワーカーの募集方法、事業内容等について教えてください。
- 事務局 クラウドソーシングワーカーの募集については、島田ICTコンソーシアムのホームページ及び広報課への投げ込み等、広く募集を行っております。併せて、クラウドソーシング事業自体の周知、啓発を目的としたセミナーを実施しております。
事業内容、事業費についてですが、まず、クラウドソーシングとは、インターネット上での仕事と働き手、ワーカーをマッチングする仕組みであり、これからの人口減少、特に生産年齢人口が減少していく社会の中で、今まで活用されていなかった子育て中の女性やシニアなどが持つスキルや時間、働く意欲をクラウドソーシングワーカーとして活用していくものです。
この仕組みの構築にあたり、まず必要となるのが、働く人、いわゆるワーカーです。初年度である平成29年度は、ワーカーを募集し、実際に仕事をこなしていただき、勉強会も開催しながらワーカー自身のスキルアップを図っていくということに取り組みました。
この取組は年間を通じたものであり、事業費が大きくなっているのは、ワーカーを育成する側の人件費等が事業費となりますので、他の事業と比べて大きくなっています。
今後、このクラウドソーシング事業についてはワーカーの人数を増やしていきたいと考えております。今年度の募集はホームページ上にとどまりましたが、次年度以降は、広報誌、自治会への回覧等、広く周知を図っていききたいと考えております。

(島田市自治会連合会)

○D 構成員 自治会、市民の中には「クラウドソーシング」という言葉自体を知らない人も多いと思いますので、自治会への回覧等を活用し、広く周知を図っていただきたいと思います。

○染谷市長 ありがとうございました。それでは、時間の関係もありますので、ここで議事に対する質疑、意見等の時間は終了させていただきたいと思います。

○染谷市長 続きまして、4の「意見交換」に移りますが、今回は「島田市の人口動向等について」というテーマを設けさせていただきました。

はじめに、事務局から資料4「島田市の人口動向について」及び資料5「転入・転出者アンケート結果について」を御説明させていただきます。その後、皆様と意見交換をさせていただきたいと思いますが、報告に対する感想、御提案等、自由な意見交換の時間としますので、積極的な御発言をお願い致します。

それでは、まず、事務局から説明をお願いします。

○事務局 資料4・資料5の説明

島田市の人口動向等について説明した。

- ・平成29年(2017年)の島田市の人口動向の説明
- ・転入転出者アンケート結果(H28.7.1~H30.1.31)の説明

○染谷市長 それでは、ここからは、意見交換の時間としたいと思います。今の説明に対する御意見、御感想及び御提案等、なんでも構いませんので、自由に御発言ください。

(島田商業高等学校)

○E 構成員 私は島田商業の情報科で、今年度のPepperプログラミング体験講座にもアシスタントとして参加しました。島田市民ではないのですが、この取組の中で同じくアシスタントとして参加した生徒が「情報・ICT」というものに興味を持ち、島田市内の企業に就職をしました。小学生、中学生に教える中で「楽しい」という感覚をもち、島田市内の企業に就職するということは、非常にいいことだと思いますので、今後もぜひ続けていただきたいと思います。

(島田信用金庫)

○F 構成員 資料を別途配付させていただいておりますが、当金庫としての地方創生に向けた取組を紹介させていただきます。

1つ目は人材確保等に関する事業支援ですが、これはハローワーク島田と連携した取組でございます。目的は、人手不足解消や働き方改革への対応といった中小企業にとって非常に重要な課題に対し支援を行うというものです。

具体的な活動内容として、ハローワークの求人誌を当金庫の ATM コーナーに備えおくということ、これは全国的にも早い取組であります。また、産業支援センターおびサポでの個別相談会を月 1 回開催しており、実績としては平成 28 年度が 33 事業所、平成 29 年度が 13 事業所となっております。平成 29 年が減少しているのは、平成 29 年度からハローワーク所長様との起業訪問を取り入れたことによるものです。さらにおびサポとの共催によるセミナーの開催や、先ほど触れましたハローワーク所長様と当金庫の支店長との共同企業訪問の実施です。平成 28 年度は 7 事業所、平成 29 年度は 54 事業所と非常に成果が上がってきているところであります。この活動は島田モデルとして、県内 12 信用金庫と労働局が取り組むなど発展しており、厚生労働省からも注目される活動となっております。

2 つ目として、「地元高校生による地方創生研究発表会」の開催です。これは地元の高校、島田市、島田商工会議所、島田市商工会、静岡県などと連携した取組であります。目的は、高校生の若い力による地域への愛着、地域資源の再確認、魅力発信、研究内容の活用を目指し、今後の地場産業、観光等における地域発展に寄与することとしています。具体的な活動内容として発表会を平成 29 年 2 月に第 1 回、今年の 2 月に第 2 回目を開催し、地元高校生 8 校が参加し、地域の魅力発信や地域活性化に向けた提言を発表していただきました。この中で当金庫が高校生の発表内容と企業とをマッチングし、高級茶葉の飲料化、新商品開発に向けた取組に対して支援をいたしました。この発表会は地方創生に資する金融機関との特徴的な取組事例として内閣府特命大臣から表彰を受けることができました。

当金庫としては、これらの取組を通じて、高校生にこの地域で働く魅力を知ってもらい、この地域での就職につなげ、地域活性化、人口流出の歯止めに貢献していきたいと考えております。

○染谷市長 ありがとうございます。ここで先ほどの静岡県立大学 C 構成員からの質問に対する説明を事務局からお願いいたします。

○事務局 それでは先ほどの「出逢い、恋して、結婚する」の予算額が前年度から 36.17%減となっている件について、御説明させていただきます。
島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で「出逢い、恋して、結婚する」の主な事業として、「結婚支援事業」があります。この事業は今年度まで、市が直接実施していましたが、事業を実施する中で「しまだおせっかい人サロン」などの市民による団体が立ち上がり、この団体による自主的な活動へ移行させていくこととしたため、予算額が減少しているものです。

○染谷市長 ありがとうございます。今の説明の中で「しまだおせっかい人」という言葉が出ましたが、これは、おせっかい人養成講座を修了した方で、昔の「地

域の世話人」のように、いい御縁を紹介、マッチングするといったボランティアの活動であります。次年度以降は、これらの方々に任せていくこととしたものであります。

(静岡県立大学)

OC 構成員 ありがとうございました。年々減少傾向にある出生数に歯止めをかけるために周りの環境づくりは必要です。即効性のある対策は難しいかもしれませんが、これらの取組により改善方向に向かっていくといいと思います。

○染谷市長 合計特殊出生率という一人の女性が生む子どもの数は努力して増やすことはできるかもしれませんが、生まれてくる子どもの絶対数を増加に転じさせることは難しいと思います。子どもを生める年代の女性の人口が激減しているという日本の状況も知っておいていただければと思います。

(島田市観光協会)

OG 構成員 今年度から島田 ICT コンソーシアムで取組を始めた ICT 推進プロジェクト、人材育成事業について、これから先の未来は、今よりも ICT や AI などがもっと身近な存在になってくることは間違いなく、そのような社会では ICT を活用し、何かを生み出し、作り出していく人材は必要不可欠であると考えています。この予測の中で、島田市では、これに備え、プログラミング体験学習、また高校生をその事業のアシスタントとして活躍してもらうような取組を始めました。この取組の効果、成果をすぐに表すことは難しいとは思いますが、続けることによって、未来の島田市へつながっていくと考えていますので、ここに出席されている団体の皆様と連携、協力し進めていただければと思います。

(島田工業高等学校)

OH 構成員 先ほどの島田市の転入転出者アンケートの報告の中で、住む場所を決めた理由として最も高いのが「通勤・通学の利便性 19.0%」となっており、その意味では学校の役割の重要性を感じました。

今年度から島田 ICT コンソーシアムが人材育成事業としてプログラミング体験学習など、子どもたちの「情報化の推進」に取り組んでいただいておりますが、高校としても、こういう事業を通じて企業の方と接点をもてることは非常に有意義であります。

次年度も、組込制御プログラミングやラズベリーパイを活用した講座などを実施するとのことですので、当校としても最大限協力をさせていただきたいと考えております。

「教育の充実」は非常に重要で、その点において島田市は大変積極的に取り組んでいただいております、この地域の高校生は、落ち着いて授業を受けることや朝の読書に自らすすんで取り組むことができるなど、非常にありがたく感

じています。

先ほどからお話にも出ているとおり、これから「働き方」が変わっていきます。大量生産、大量消費の部分は機械が行うようになり、その中で人間は自分で考えて、生み出していく、また、起業まではいかなくても会社の中でアイデアを提案していくような能力が必要になると思います。

こうしたことから、今後は、子どもたちの特性に応じた少人数での教育ができればと考えています。現在の県立高校では難しいですが、島田 ICT コンソーシアムでの取組の中で考えていけるといいと思います。

他の地域では、待機児童問題等で保育園に入りたくても入れないことがあります。島田市は、その点にも力を入れていただいております。待機児童数は少ないと聞いております。島田で育った子どもたちが、島田で学び、島田で活躍できるようにしていけたらと考えております。

○染谷市長 ありがとうございます。ちなみに、島田市の待機児童は来年度4月1日現在で「0」となる予定でございます。

(島田市農業経営振興会)

○I 構成員 私は農業の視点から意見を述べたいと思います。平成30年度の島田 ICT コンソーシアムによる事業計画の中で、農業 ICT 導入・利活用促進事業とあり、「高齢化や担い手不足などの課題に対し、ICT を効果的に活用し改善、解決を図る」とあり、これは若い農業者は非常に心強いと思えました。全国と同様、島田市においても農業分野における担い手不足は深刻な問題であり、農業も一つの職業として魅力ある職業にしていかなければならないと感じており、あらゆる場面で農業の素晴らしさを PR しています。農業の担い手不足は、農地の荒廃化を進めさせるため、農地の集積化も必要ですが、大きなエリアではなかなか難しいので、小さなエリアでも進めていくことが必要であると考えています。もう1点、私はこのような会議でいつも PR させていただいておりますが、「全国農業担い手サミット」が年1回、全国各地で開催されています。平成29年が高知、30年が山形、そして31年が静岡で開催されます。全国から農業者が約2000人参加しますので、その研修場所に島田になってもらいたいと考えています。これは観光面でも効果があると思いますので、商工会議所、商工会にも協力いただきながら、ぜひ、実現させたいと思います。行政をはじめ、今日の出席団体の皆様にもお力添えをいただければありがたいと思っています。こうした活動を通じて、農業の素晴らしさが PR され、担い手不足解消のきっかけになればと思います。

○染谷市長 ありがとうございます。平成31年の全国農業担い手サミットについては、3月24日にオープンする「茶の都ミュージアム」も中心的な施設として位置づけられると思っています。また、島田市には茶業に積極的に取り組む若

い人材もたくさんいますので、行政としても協力したいと思っています。

(島田市校長会)

- A 構成員 島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の「豊かな心をもった子どもを育成する」に関してお話ししたいと思います。まず、転入転出者アンケート結果から、島田に戻ってきたいという方がたくさんいるということは非常にうれしく思いました。現在、一小、二小、三小、四小の4年生を対象とし、「伊久美移動教室」というものに取り組んでいます。伊久美の自然に触れたり、ヤマメをつかまえて、さばいて、食べる、こうした中で命の大切さを学ぶというような取組です。このような体験は子どもたちにとって非常に大きなもので、先日の卒業式の中でも、その体験が思い出として語られました。また、サタデーオープンスクールや、サマーオープンスクールを実施するなど、学校教育やそれ以外のところでも、子どもたちに島田の魅力を知らせる取組を実施しており、子どもたちにとってはこれが島田の原風景となり将来、島田に戻ってくる一つのきっかけになると考えておりますので、今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。

- 染谷市長 ありがとうございます。ここで、まだ発言をいただいていない方から意見を伺いたいと思います。

(島田青年会議所)

- J 構成員 青年会議所として、青少年育成事業やまちづくり事業に取り組んでいます。具体的な活動としては、移住・定住の促進として「30歳の同窓会」を去年、今年とやらせていただいています。参加者を集めるのに大変苦労しますが、島田の魅力を再確認にしてもらい、将来の移住・定住につなげていくという点では、非常にいい取組と考えていますので、今後は周知、PRを強化するなど、多くの人に参加していただけるように行政と協力して進めていければと考えています。

(お母さん業界新聞)

- K 構成員 皆さんの話を聞きながら、家庭、お母さんの担う役割は大きいと感じていました。転入者アンケート結果の中で、住む場所を決めた理由が「生まれた土地、以前住んでいた」が高いことを考えると、子どもたちに対する家庭、親、地域の関わりが非常に重要であると改めて感じたところであります。私は、いろいろなお母さんに関わることがありますが、お母さんたちの考え方も、大きく変わっています。数年前までは子育てと仕事に葛藤しながら働いていたお母さんが多かったのですが、最近は環境が整ってきたこともあり、ある程度、余裕をもって子育てと仕事に取り組むお母さんたち

が増えてきました。

島田 ICT コンソーシアムが取り組んでいるクラウドソーシング事業も、お母さんたちが子育てをしながら、空いている時間やスキルを上手に使い、生活の質を高めていけるということが、余裕という部分につながっていると感じています。

今、私が住んでいる地区、自治会では「なかみぞさんち」という駄菓子屋の取組をしていますが、「人と人のつながり」というのは非常にいいと感じています。

つながりの種類は親同士、親と子、子どもと地域の人と様々ですが、子ども同士が遊んでいるのを、親が見て、それを地域の人が温かい目で見守ることができるこのまちは素晴らしいと感じました。自分が子どもの時は感じませんでしたが、その時も温かい目は存在したからこそ、今、自分が親になってこのように感じるのだと思っています。こうした取組の中の何気ない見守り、温かい目が将来、島田で暮らしたい、生まれ育ったまち、地域で暮らしたいということにつながると感じています。

(PTA 連絡協議会)

OL 構成員 子どもというのは無限の可能性をもっています。PTA 連絡協議会の会長として全国を取組事例を聞くことも多いのですが、そこで感じたことは、子どもは興味をもったことについての知識の吸収力は、大人には真似できないくらい、ものすごいということです。

島田市ではプログラミング体験学習ということで取り組んでいただいておりますが、大人になって始めるよりは、子どもの時から体験させることが効果的であると思っています。平成 30 年度の事業計画を見た中で、規模感、目標値が見えないのが残念でしたが、子どもたちには可能な限りの情報、チャンスを与えていただきたいと考えています。その中から子どもたちは興味を持ったものを積極的に自ら学んでいくのだと思います。その時に親や他の大人、地域は、子どもたちの学びをサポートすることが必要なのだと思いました。先程もお話がありましたが、このような取組の成果はすぐに表れるものではありませんので、長期的な目をもって取組を継続させることが必要であると思っています。

(島田榛北地区労福協)

OM 構成員 労福協では毎年、島田市に対して要望書を提出し、その中で様々な提案をさせていただいております。それに対して、島田市として真剣に検討していただき、対応していただいておりますことに非常に有難く思っております。ありがとうございます。

先程から話に出ているとおり、ICT の利活用による地域経済の持続的な発展、次世代の島田市を担う人材の育成等々、様々な視点から、非常によく検討していただいていると感じています。特に小・中・高の幅広い年代に

渡る人材育成事業については期待しているところです。私からは勤労者の視点でお話をさせていただきたいと思いますが、この地域には様々な業種において高い技術をもった方が数多くいらっしゃいます。今日のお話を聞いていて、この ICT 推進プロジェクトに私ども労福協の力が活かせるのではないかと考えておりますので、ぜひ労福協をうまく活用していただければと思います。こうした取組が将来、この会社で、この地域で働きたいということにつながっていくと感じました。

(島田公共職業安定所)

○N 構成員 私がここで勤務して 1 年が経過しましたが、そこで気づいたことは、魅力的な企業がたくさんあったということです。先程、島田信用金庫様からお話があったように、一緒に企業訪問をさせていただきましたが、世界一、日本一とも思える企業がたくさんありました。ただ、企業自身がその素晴らしさを PR してない、ここが課題であり、この部分をハローワークとしてどのように取り組んでいくべきかを考えていかなければならないと思っています。魅力ある企業を PR することによって、島田での就職が増加し、人手不足の解消、人口減少の歯止めにつなげることができればと思います。もう一点、昨年 11 月に島田市と雇用対策協定を結ばさせていただきました。そのなかで、若者、高齢者、女性、障害者、外国人など様々な方がいますが、その方たちに対して、ハローワークだけではできなかったことが、他の団体と連携することにより支援が可能になり、新しい発見が生まれると思っていますので、皆様と協力し、頑張っていきたいと思っています。

○染谷市長 ありがとうございます。これからも、ここにおられる皆様方の「気づき」を活かし、一つの「気づき」ではできないことが、いくつもの「気づき」を重ねることによって、連携することによって、新たな取組、新たな発想、新たな事業ができるようになってくると思いますので、ぜひご協力をお願いしたいと思います。

ありがとうございました。

○染谷市長 それでは、次第 5 その他「平成 30 年度島田市まち・ひと・しごと創生市民会議について」事務局から説明をお願いします。

○事務局 平成 30 年度も本市民会議を継続していく旨を説明した。

- ・開催時期は、今年度と同様 8 月と 3 月の 2 回
- ・詳細は追ってお知らせする旨を説明

○染谷市長 ただいまの説明について、質疑、御意見等はございませんか。

<質疑・意見なし>

- 染谷市長 ありがとうございました。
皆様のご協力により、本日の議事につきましては、全て終了いたしました。
それでは会議の進行を事務局へ戻します。
- 戦略推進課長 皆様、ありがとうございました。
平成 30 年度もこの市民会議は継続させていただくこととなりました。
つきましては、4月に入りましたら、構成員の選出等をお願いさせていただきたいと思
います。
それでは、以上をもちまして「平成 29 年度第 2 回島田市まち・ひと・しごと創生市民
会議」を閉会とさせていただきます。
本日は、御多用の中、御出席いただきまして、ありがとうございました。
お気をつけてお帰りください。

以上